

Windows Server対応 FAXサーバーソフト スターファクス サーバー 2010

STARFAX®

Server

2010

ユーザーズマニュアル

CONTENTS

STARFAX Server 2010について	4
STARFAX Server 2010をお使いいただくために必要なもの	4
STARFAX Server 2010でのFAX送受信時の動作	4
STARFAX Server 2010の特徴	5
I セットアップ 7	
I-1. 動作環境	8
I-2. FAXモデムの準備	9
FAXモデムを接続する	9
I-3. STARFAX Serverのセットアップ	10
セットアップの手順	10
I-4. STARFAX Serverの基本設定	13
STARFAX Serverサービスマネージャーを表示する	13
モデム環境設定	13
メールサーバー設定	16
グループFAX設定	17
共有情報設定	19
I-5. クライアントのセットアップ	22
STARFAX 14グループFAXをお使いの方へ	24
II 便利な使い方 25	
II-1. 受信FAXをメールに転送する	26
II-2. 受信FAXをFAXで転送する	27
II-3. 受信FAXをプリンターで印刷する	28
II-4. 受信FAXをPDFに変換して保存する	29
II-5. 転送・印刷の再転送	30
II-6. どこでもFAX機能を利用する	31
サーバー側の設定	31
クライアント側の設定	33
どこでもFAXを使う	34
III メンテナンス 35	
III-1. 送受信状況の確認	36
III-2. 旧バージョンからの引き継ぎ	37
III-3. データのバックアップ	38
III-4. データの復元(リストア)	39
III-5. サーバーパソコンを入れ替える	40
III-6. クライアントパソコンを入れ替える	41
III-7. アンインストール	42
IV サポート情報 43	
サポートサービスのご利用について	44
ユーザー登録について	44
サポートセンターへのお問い合わせについて	44
STARFAX Server 2010 調査依頼書	45
ユーザー登録変更届	46

■マニュアルについて

Windows ファイアウォール設定 (PDF マニュアル)	STARFAX Server を使用するためには必要なファイアウォールの設定方法が掲載されています。 Windows のスタートから [すべてのプログラム] – [STARFAX Server 2010] – [マニュアル& Web ページ] – [Windows ファイアウォール設定 (PDF マニュアル)] をクリックします。
ユーザーズマニュアル	本書です。STARFAX Server の操作方法が掲載されています。 Windows のスタートから [すべてのプログラム] – [STARFAX Server 2010] – [マニュアル& Web ページ] – [ユーザーズマニュアル (PDF マニュアル)] で本書の PDF 版が開きます。
クライアントマニュアル	クライアントでの操作や、STARFAX Server 2010 のクライアントと同じ機能については、クライアントに付属するユーザーズマニュアル・ヘルプをご覧ください。

※開発中の画面で作成しているため、実際の画面と一部異なることがあります。

■記号について

-  機能を使用する上で知っていると役立つ情報を記載しています。
-  機能を使用する上で特にご注意いただきたいことを記載しています。
-  機能に関連する情報の参照箇所を記載しています。

STARFAX Server 2010について

STARFAX Server 2010で、FAX業務を効率よくスムーズに行うための機能をご紹介します。

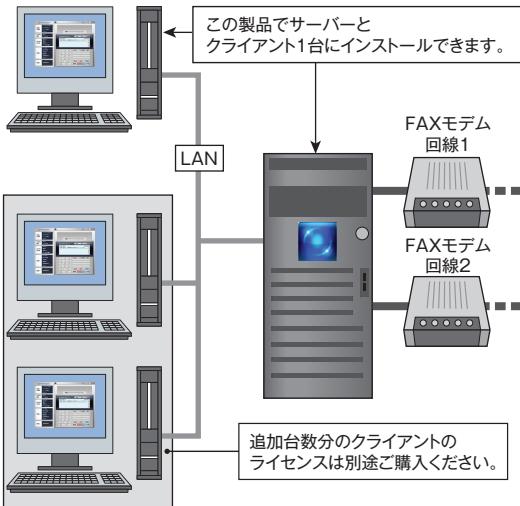
STARFAX Server 2010をお使いいただくために必要なもの

STARFAX Server 2010をお使いいただくためには、以下のものが必要です。

・サーバー用パソコン 1台

STARFAX Server 2010をインストールすることで、サーバーとなります。

STARFAX Server 2010の動作環境を満たしている必要があります。→8ページ「動作環境」



・クライアント用パソコン 1台以上

クライアントプログラムをインストールすることで、クライアントとなります。

クライアントプログラムの動作環境を満たしている必要があります。→クライアントプログラムのマニュアルを参照

※クライアントは、サーバーと同じLAN内にあること（「どこでもFAX機能」を利用するクライアントは別）。

・クライアント台数分のライセンス

クライアントパソコン1台分のライセンスが付属していますので、2台以上クライアントを接続するときは、追加分のクライアントプログラムのライセンスキーを別途ご購入ください。

・FAXモデム (使用する回線ごとに必要)

STARFAX Server 2010でのFAX送受信時の動作

STARFAX Server 2010でのFAX送受信時の動作は以下のとおりです。

FAX送信の操作や、受信FAXの確認はクライアントで行います。

» 送信時の動作

ユーザーがクライアントからFAX送信すると、サーバーの送信待ちフォルダーにいったん保存されたのち、サーバーから相手先へFAX送信されます。

→ 17ページの「グループFAX設定」を参照



» 受信時の動作

サーバーはFAXを受信すると、受信したFAXをサーバー内の受信結果フォルダーに保存し、全クライアントに受信したFAXを配信します。ユーザーは、クライアントの受信結果フォルダーを開き、FAX内容を確認します。

→ 17ページの「グループFAX設定」を参照



STARFAX Server 2010の特徴

» グループFAX機能で、FAX業務を効率アップ

回線ごとに「送信のみ／受信のみ／送信・受信とも」の設定ができ、さまざまな回線運用ができるだけでなく、送受信結果や電話帳などの情報を全クライアントで共有できるのがグループFAX機能です。

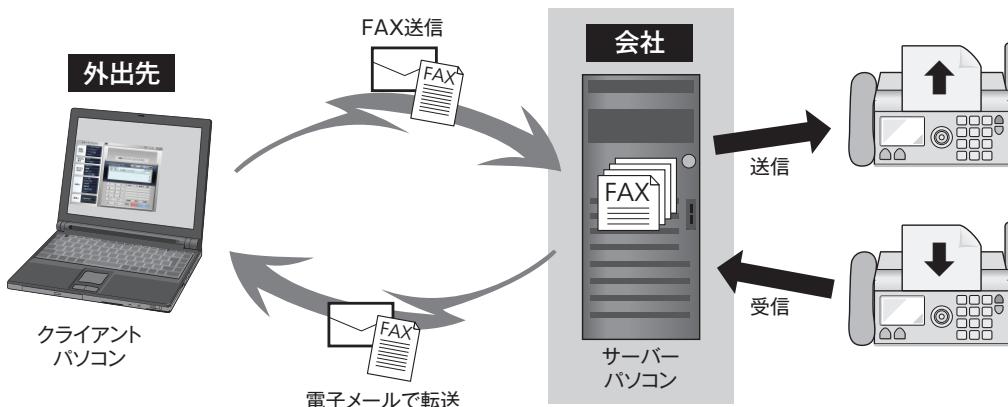
※STARFAX Server 2010をご利用いただくためには、必ず以下の設定が必要です。

□ 13ページの「モデム環境設定」を参照

□ 17ページの「グループFAX設定」を参照

» 外出先から、FAX送受信を行う

外出先からFAX送信できる「どこでもFAX機能」と、受信FAXがメールで届く「メール転送機能」で、LANに接続できない外出先のパソコンなどから、インターネットを経由してSTARFAX Server 2010でFAX送受信が行えます。



※これらの機能をご利用いただくためには、STARFAX Server 2010の設定の他に、以下の設定が必要です。

□ 16ページの「メールサーバー設定」を参照

□ 31ページの「どこでもFAX機能を利用する」を参照

□ 26ページの「受信FAXをメールに転送する」を参照

» その他の便利な機能など

登録済みの宛先にのみ送信できる「誤送信防止機能」▶ 17ページ「グループFAX設定」

STARFAX 14グループFAXをお使いの方へ▶ 24ページ

受信FAXの転送・印刷機能▶ 26ページ～28ページ「転送・印刷設定」

Section

I

セットアップ

I-1.	動作環境	8
I-2.	FAXモデムの準備	9
	FAXモデムを接続する	9
I-3.	STARFAX Serverのセットアップ	10
	セットアップの手順	10
I-4.	STARFAX Serverの基本設定	13
	STARFAX Serverサービススマネージャーを表示する	13
	モデム環境設定	13
	メールサーバー設定	16
	グループFAX設定	17
	共有情報設定	19
I-5.	クライアントのセットアップ	22
	STARFAX 14グループFAXをお使いの方へ	24

I-1. 動作環境

STARFAX Serverをご使用いただく前に、以下の動作環境をご確認ください。

対応 OS	Windows Server 2008/2008 R2 (Standard Edition、Enterprise Edition) Windows Server 2003/2003 R2 (Standard Edition、Enterprise Edition) Windows 7 (32 ビット / 64 ビット) Windows Vista Service Pack 2 以上 (32 ビット / 64 ビット) Windows XP Service Pack 2 以上 (32 ビット) ※各日本語版にのみ対応 ※ 64 ビット OS 上では、32 ビットアプリケーションとして動作
CPU/ メモリ	OS が推奨する環境以上
ハードディスク	200MB 以上 運用時は蓄積する FAX 送受信原稿分（平均的な A4 サイズ原稿 1 ページで 80KB 程度）の空き容量が必要
FAX モデム	スーパー G3 または G3 規格対応機器 ※ご使用いただくモデルが RS-232C 接続の場合シリアル（COM）ポートが必要 ※ 2 回線ご使用いただく場合は、2 回線分の RS-232C 接続の FAX モデムが必要 ※ 2 回線ご使用いただく場合は、2 台分の FAX モデムが接続できるシリアルポートが必要 ※ FAX モデムのドライバーが使用パソコンの OS に対応していること
FAX 回線	一般加入電話回線、IP 電話回線（光、ADSL）、ISDN 回線 ※一般的な電話機または FAX 機が利用できる回線
インターネット環境	以下の機能を利用するときに必要 〈インストール・メンテナンス関連〉 ライセンス認証／プログラム更新／クライアントプログラムダウンドロード 〈STARFAX Server 2010 本体機能〉 どこでも FAX ／メール転送
ディスプレイ	解像度 800 × 600 以上、65,536 色以上が必要
周辺機器	CD-ROM ドライブ（セットアップ時）、マウス、キーボード
制限事項	管理者 (Administrator) 権限が必要
その他	クライアントプログラムがインストールされたパソコン（クライアントパソコン）が 1 台以上必要です。

■FAX通信仕様

通信機能	スーパー G3、G3 規格準拠
通信速度	33600 ~ 16800bps (スーパー G3) 14400 ~ 2400bps (G3)
モデム制御規格	Class 1.0、Class 1
原稿解像度	ノーマル : 200 × 100dpi ファイン : 200 × 200dpi スーパーファイン : 200 × 400dpi
FAX 通信時の圧縮方式	MH、MR、MMR
原稿作成時の圧縮方式	モノクロ時 : PackBits
対応用紙サイズ	A3、B4、A4、B5、A5
その他	※スーパー G3 を利用するときは、送受信側にスーパー G3FAX モデムが必要です。 ※カラー FAX を利用するときの制限は以下の通りです。 モード制御規格 : Class 1.0、Class 1 原稿解像度 : ファインのみ 原稿作成時の圧縮方式 : JPEG 対応用紙サイズ : A4

I-2. FAXモデムの準備

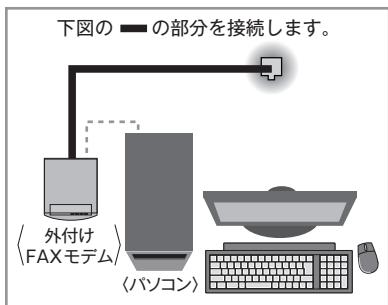
STARFAX Serverをインストールする前にFAXモデムのセットアップを完了しておいてください。FAXモデムの準備をしてからSTARFAX Serverのセットアップを行うと、STARFAX Serverのセットアップ時にFAXモデムを検出して「モデム環境設定」－「モデム設定」が自動でセットされ、設定の手間が省けます。

FAX モデムを接続する

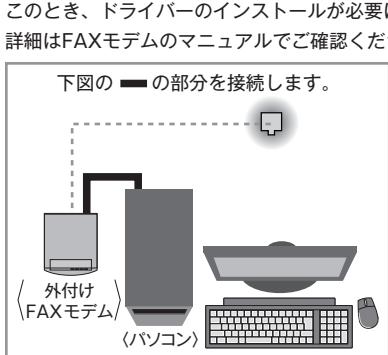
以下は、STARFAX Server用の電話回線がある場合の接続例です。

» FAXモデムを接続する

- ①FAXモデムを電話回線に接続します。



- ②パソコンと外付けFAXモデムを接続します。



FAXモデムの接続方法は、お使いの環境により異なります。詳しくは「接続ガイド」やFAXモデムの説明書などをご参照ください。

接続ガイドURL

<http://www.megasoft.co.jp/starfax/connect2/>

I-3. STARFAX Serverのセットアップ

STARFAX Serverをパソコンにインストールします。

セットアップの手順

STARFAX Serverのインストールは、サーバーパソコンで行ってください。
リモートデスクトップではインストールは行えません。

» セットアップを起動する

①パソコンのDVD(CD)ドライブにSTARFAX ServerのCD-ROMを挿入します。

[アプリケーションのセットアップ] が開きます。

②[サーバーセットアップ] をクリックします。

Windowsファイアウォール設定の説明画面が表示されます。

③ [Windowsファイアウォール設定] をクリックして表示されるマニュアルを確認して設定します。

設定が完了するまでSTARFAX Serverの機能を使用できません。

④ [次へ] をクリックします。



⑤セットアップが起動します。 [次へ(N)>] をクリックしてセットアップを開始します。

セットアップの途中でライセンスキーが必要になります。
ライセンスキーはセットアップディスクのケースに記載されています。

⑥セットアップ終了後に再起動を促すメッセージが表示されます。

「はい、今すぐコンピューターを再起動します。」を選択して [完了] をクリックします。

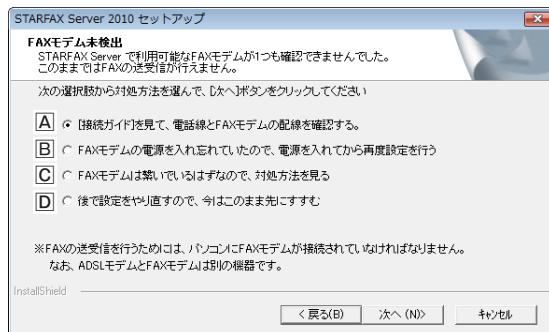
再起動しなければSTARFAX Serverのセットアップが完了しません。



» 回線テスト(FAXモデムが見つからない場合)

⑦セットアップ中にFAXモデムを検出できなかったときは、「FAXモデム未検出」が表示されます。

この画面が表示されたときは、FAXモデムのセットアップが完了しているか、また、FAXモデムの電源などを再度確認してください。



A [接続ガイド]を見て、電話線とFAXモデムの配線を確認する

[次へ(N)] をクリックするとセットアップが終了して [接続ガイド] を表示されます。

配線を確認して再度セットアップを実行してください。

B FAXモデムの電源を入れ忘れていたので、電源を入れてから再度設定を行う

FAXモデムの電源を入れて、[次へ(N)] をクリックすると発信テストを行うための画面が表示されます。

テスト実施後、セットアップが続行されます。

C FAXモデムは繋いでいるはずなので、対処方法を見る

[次へ(N)] をクリックすると「FAXモデム未検出時の対処方法」が表示されます。

[電話とモデムのオプションを表示] をクリックして接続されているFAXモデムを確認・設定してください。

D 後で設定をやり直すので、今はこのまま先にすすむ

[次へ(N)] をクリックするとセットアップを続行します。セットアップ完了後、必ずFAXモデムの設定を行ってください。

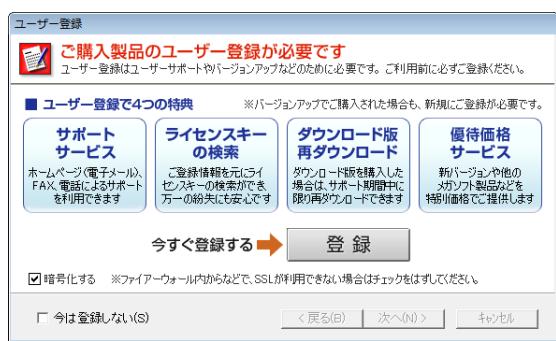
» ユーザー登録を行う

⑧セットアップの途中に「ユーザー登録」が表示されます。

[登録] をクリックし、オンラインでユーザー登録を行ってください。

サポートを受けるためには、ユーザー登録が必要です。

- ユーザー登録は、STARFAX Server 2010で1度だけ行ってください。再インストール時にもこの画面が表示されますが、すでに登録済みの場合は、「今は登録しない」にチェックを付けて、次へ進んでください。
 - サポートを受けるためには、ユーザー登録が必要です。
- 44ページの「サポートサービスのご利用について」を参照



» ライセンス認証を行う

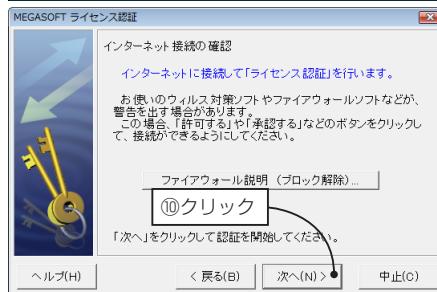
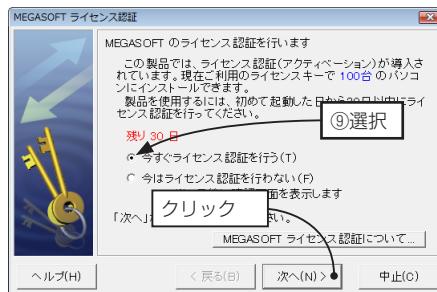
セットアップ時または初回起動時にライセンス認証を促す画面(右図)が表示されます。

⑨【今すぐライセンス認証を行う】を選択して、[次へ(N)] をクリックします。

- セットアップ時に認証を行わなかった場合、一日一回起動時に認証を促す画面が表示されます。ライセンス認証は初回起動時から30日以内に必ず行ってください。30日を越えると、STARFAX Serverを起動できなくなります。

⑩ [次へ(N)] をクリックします。

- ご使用のウィルス対策ソフトやファイアウォールソフトなどが警告を表示する場合があります。その際は、「ファイアウォール説明(ブロック解除)」をクリックして、ブロック解除の方法を確認し、接続できるように設定します。



□ ライセンス認証(アクティベーション)について

・STARFAX Serverでは、正規ユーザー様の権利を擁護するため、ライセンス認証(アクティベーション)を導入しています。

ライセンス認証とはソフトウェアの不正コピーを防止し、正規に使用許可を得たソフトウェアであることを確認するためのものです。認証は短時間で行え、その際に個人情報をご提供いただく必要はありません。また、これによりソフトウェアの利便性が損なわれることはありません。

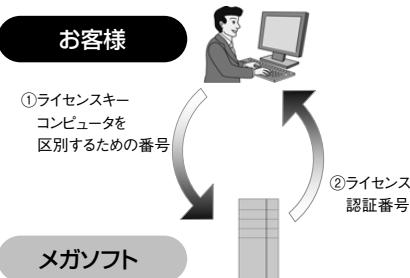
・セットアップ時または初回起動時にライセンス認証を促す画面が表示されます。コンピューターがインターネットに接続されている場合は、認証の手続きは自動的に行われます。

インターネットに接続されていない場合は、電話で、メガソフトからライセンス認証番号を取得します。

・STARFAX Serverは、1ライセンスにつきセットアップできるコンピューターは1台です。

認証の解除について

- ・STARFAX Serverを別のパソコンにインストールするときは、先に現在お使いのSTARFAX Serverをアンインストールしてください。
インターネットに接続されている場合は、アンインストール時に認証が解除されます。
- ・アンインストールできなかった場合は、ライセンス認証係にお問い合わせください。



ライセンス認証のお問い合わせ

TEL.06-6386-6153

(対応時間: 9:30 ~ 11:45 / 13:00 ~ 17:00 特別期間の休業を除く全日)

I-4. STARFAX Serverの基本設定

インストールが完了したら、STARFAX Server の設定を行います。

STARFAX Server サービスマネージャーを表示する

STARFAX Serverの設定はすべてSTARFAX Serverサービスマネージャーで行います。

STARFAX Serverサービスマネージャーは、Windowsのスタートから [すべてのプログラム] – [STARFAX Server 2010] – [STARFAX Server 2010サービスマネージャー] で表示できます。

モデム環境設定

» モデム環境設定の表示

- ①STARFAX Serverサービスマネージャーの「モデム環境設定」をクリックします。

「STARFAX Server環境設定」の「モデム設定」タブが表示されます。

「モデム設定」が表示されずに「その他の設定」が表示されたときは、サービスが動作中です。STARFAX Serverサービスマネージャーに戻り、サービスを停止してから「モデム環境設定」をクリックしてください。



» モデム設定

STARFAX Serverは、複数の回線を使用でき、回線ごとに送信／受信に使用するかを設定できます。
また、送信／受信によって設定項目が異なります。

・STARFAX Serverセットアップ時にFAXモデムを検出できたとき

「モデル設定」タブの回線1に(FAXモデムが2台検出できたときは回線2にも)FAXモデムの情報がセットされます。
以下の①の項目と、「モデル／ポートの選択」を設定・確認してください。
その他の項目は、そのまま問題なくご利用いただけます。
※回線1、回線2とも確認してください

・STARFAX Serverのセットアップ時にFAXモデムが検出できなかつたとき

・FAXモデムを交換・追加したとき

自動設定されていません。

追加・変更した回線の全項目を確認・設定してください。

■ [回線1]・[回線2]

設定する回線をクリックして必要事項を設定・確認します。

Ⓐ「送信許可」・「受信許可」

設定中の回線で行う通信にチェックをつけます。
1つの回線で送受信とも行うこともできます。

Ⓑモデル

・モデル／ポートの選択で使用するFAXモデム・シリアルポートを選択します。
・「モデルテスト」をクリックすると、正常に通信が行えるかをチェックできます。
・回線種別、外線発信番号、スピーカーの制御および音量、相手機に通知する自局番号を設定できます。

Ⓒモデル動作設定

モデム動作設定の各設定項目については、「説明」ボタンをクリックしてご参照ください。

エラー時の動作を設定します。

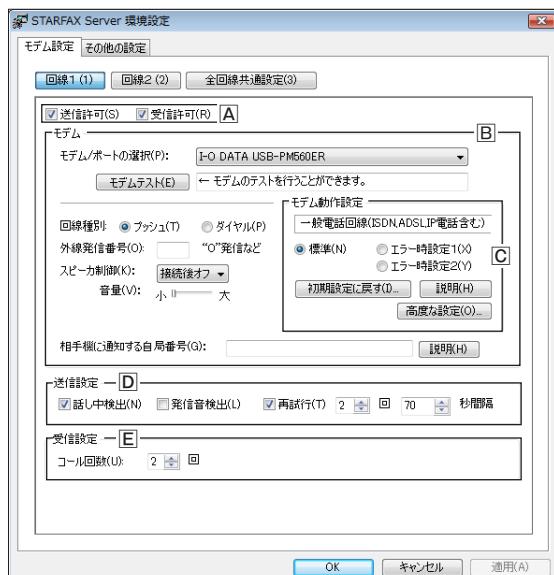
[高度な設定] をクリックすると「詳細設定」が表示され、モーデムの詳細な設定が行えます。

Ⓓ送信設定

- ・話し中検出…相手側の話し中の状態を検出します。
- ・発信音検出…受話器を上げたときの発信音を検出します。
- ・再試行…送信エラーが起きたときの再送信の回数と間隔を設定します。

Ⓔ受信設定

- ・コール回数…何回のコールで受信を開始するかを設定します。



■[全回線共通設定]

すべての回線に適用される設定です。内容を確認して、必要があれば設定を変更します。

F送信設定

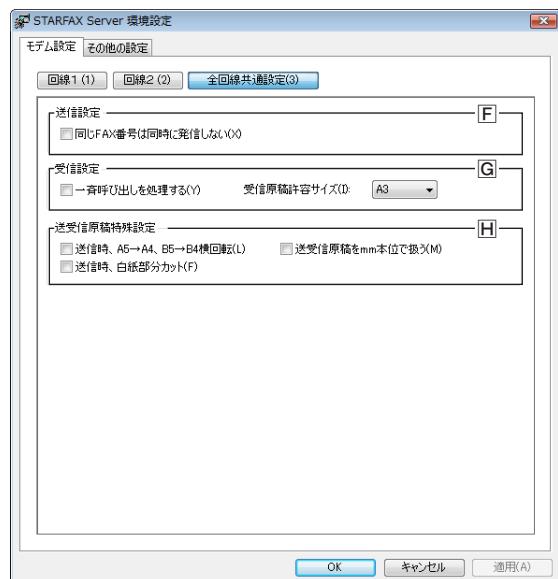
- 同じFAX番号に同時に発信しない…複数の回線を使用しているときに、同じFAX番号に同時に発信しないようにします。

G受信設定

- 一斉呼び出しを処理する…接続されている複数のFAXモデルが同時に同じ電話を受信する可能性がある場合にチェックをつけます。
- 受信原稿許容サイズ…受信時の許容サイズを選択します。

H送受信原稿特殊設定

送信時に自動的に用紙を変換して送信したり、白紙部分をカットして送信する設定が行えます。



» その他の設定

STARFAX Server全体の設定です。

内容を確認し、必要があれば変更してください。

I送受信情報自動削除

送信情報・受信情報を保存しておく日数をそれぞれ設定できます。保持日数を超えた情報は、自動的に削除されます。

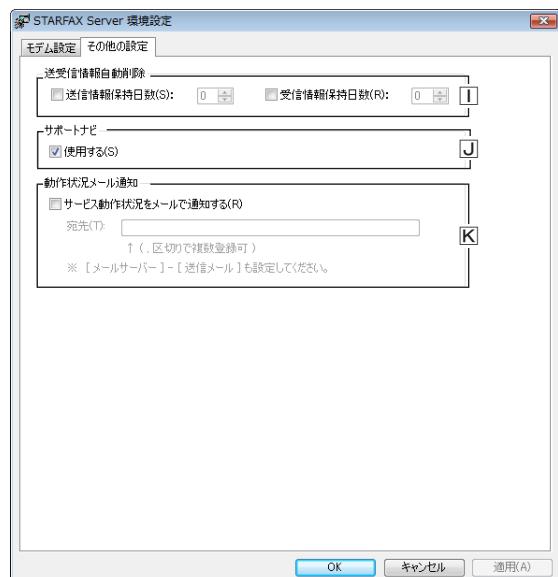
Jサポートナビ

サポートナビを使用するかを選択します。

K動作状況メール通知

サービス動作の状況をメールで通知することができます。

動作状況メール通知機能を使用するには、メールサーバーの設定が必要です。
 16ページの「メールサーバー設定」を参照

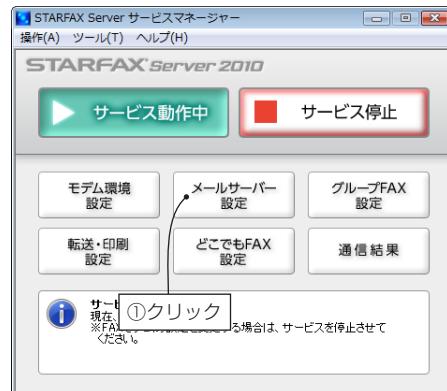


メールサーバー設定

メールへの転送、どこでもFAX、動作状況メール通知機能を使用するときは、STARFAX Serverのメールアカウントを設定します。

» メールサーバー設定の表示

- ①「STARFAX Serverサービスマネージャー」の【メールサーバー設定】をクリックします。
- 「メールサーバー設定」が表示されます。



» 送信に関する設定

A 送信メール

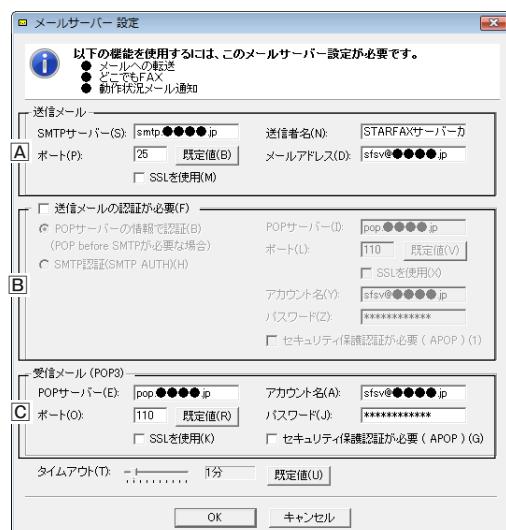
STARFAX Serverからメールを送信するための設定です。STARFAX Serverが使用するメールアカウントの「SMTPサーバー」「ポート」「表示名・メールアドレス」を設定します。

送信メールの設定内容については、システム管理者もしくはご契約のプロバイダーにお問い合わせください。

B 送信メールの認証が必要

送信メールサーバーに認証の設定が必要な場合、チェックを入れて設定を行います。

送信メールサーバーの認証が必要かどうかは、システム管理者もしくはご契約のプロバイダーにお問い合わせください。



» 受信に関する設定

C 受信メール (POP3)

STARFAX Serverでメールを受信するための設定です。STARFAX Serverが使用するメールアカウントの「POPサーバー」「ポート」「アカウント」「パスワード」を設定します。

受信メールの設定内容については、システム管理者もしくはご契約のプロバイダーにお問い合わせください。

どこでもFAX機能を使用するときは、クライアント設定時にSTARFAX Serverの受信メールアドレスが必要になります。

グループFAX設定

グループFAX機能を使用するために、クライアントの使用方法、接続方法を設定します。

» グループFAX設定の表示

- ①「STARFAX Serverサービスマネージャー」の【グループFAX設定】をクリックします。

「グループFAX設定」が表示されます。

» クライアントの使用方法の設定

- ②クライアントで、サーバーの電話帳データ、短縮ダイヤル、送付状、定型原稿、差出人情報を使用するかを設定します。

以下の4つの項目により、Ⓐの設定内容が変わります。

・標準(おすすめ)

グループFAX機能を有効にご使用いただける標準的な設定です。

通常はこちらを選択してお使いください。

・STARFAX2005以前の設定

電話帳などはサーバーの共有情報設定のデータを使用しません。受信FAXはサーバーでのみ閲覧できます。

・誤送信防止

誤送信に特に注意が必要な企業向けの設定です。

電話帳などはサーバーの共有情報設定のデータのみ使用できます。クライアントからはダイヤル入力も行えません。

・自由設定

Ⓐの設定を自由に変更できます。チェックを入れた項目は、サーバーの共有情報設定をクライアントから使用できます。

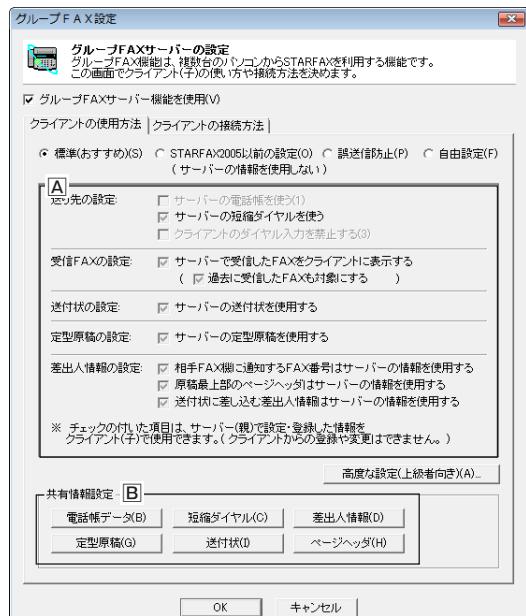
Ⓑ共有情報設定

クライアントが使用する電話帳などの情報をサーバー側で共有情報として管理することができます。

各ボタンをクリックすると、それぞれの設定画面が表示されます。

19 ページ以降を参照

⚠ グループFAX設定画面の表示中、クライアントは未接続状態になります。



» クライアントの接続方法の設定

③クライアントからの接続方法を選択します。

・自動接続(おすすめ)

クライアントを起動すると、自動手的にサーバーに接続します。

通常はこちらを選択してお使いください。

・ユーザー名・パスワードによるログインでの接続

セキュリティを高めたいときは、ユーザー名とパスワードでログインして接続することができます。

» クライアントの接続状況

STARFAX Serverに接続するクライアントのライセンス数を追加・確認できます。

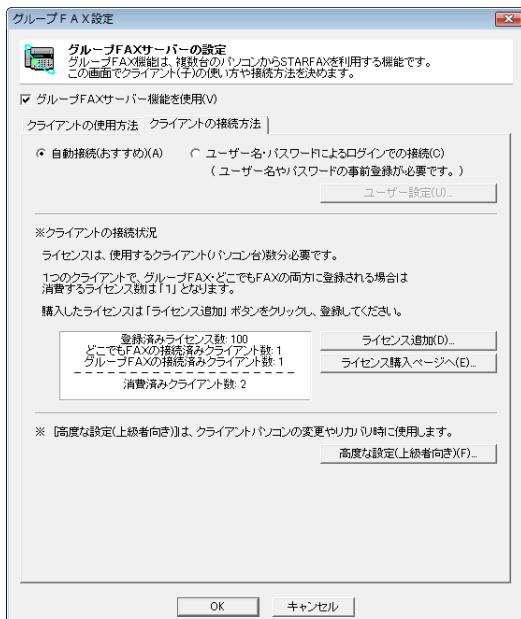
ここに表示されている「登録済みライセンス数」が、接続できるクライアントの数です。

» クライアントのライセンス追加

④ [ライセンス追加] をクリックして、表示される「ライセンス登録」でライセンスキーを入力します。

[ライセンス購入ページへ] をクリックすると、弊社のショッピングサイトでクライアントの追加ライセンスをご購入いただけます。

⑤ 登録済みライセンス数に追加したライセンス数が加算されます。



共有情報設定

共有情報設定では、サーバーで管理する電話帳データ、短縮ダイヤル、送付状、定型原稿、差出人情報、ページヘッダのデータを設定します。

共有情報は、「グループFAX設定」で、サーバーの情報を参照する設定にしたときに全クライアントから参照される情報です。

17ページの「クライアントの使用方法の設定」を参照

» 電話帳の登録・確認

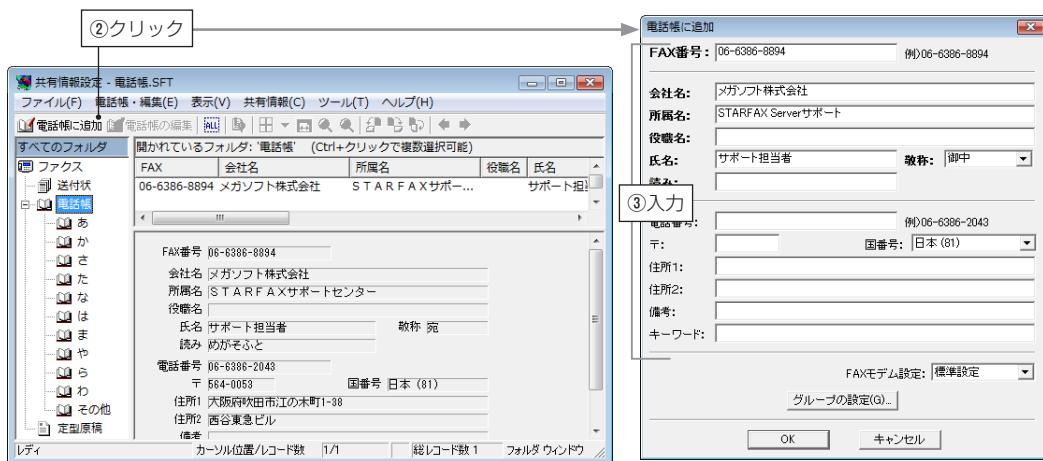
「グループFAX設定」の「送り先の設定」—「サーバーの電話帳を使う」が「ON」の時は、この情報を全クライアントで共有できます。

①「グループFAX設定」—「共有情報設定」の [電話帳データ(B)] をクリックして「共有情報設定」の電話帳を表示します。

②[電話帳に追加] をクリックすると「電話帳に追加」が表示されます。

③情報を入力します。

その他の機能の詳細はクライアントのマニュアルをご覧ください。



» 短縮ダイヤルの登録・確認

「グループFAX設定」の「送り先の設定」—「サーバーの短縮ダイヤルを使う」が「ON」の時は、この情報を全クライアントで共有できます。

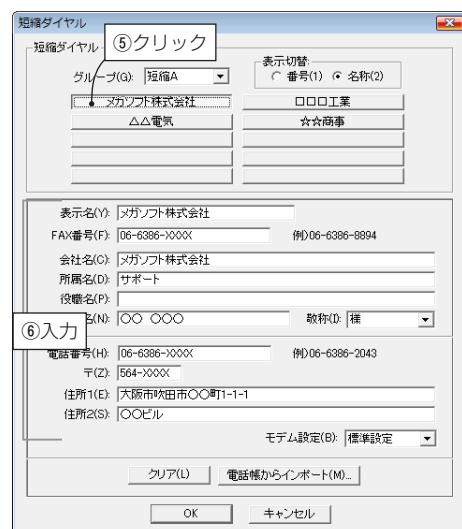
④「グループFAX設定」—「共有情報設定」の [短縮ダイヤル(C)] をクリックして「短縮ダイヤル」を表示します。

⑤登録する「グループ」を選択して、短縮ボタンをクリックします。

⑥情報を入力・編集します。

- ・[電話帳からインポート] をクリックすると電話帳のデータを取り込めます。
- ・短縮ダイヤルの登録の必須項目はFAX番号のみです。
- ・他の項目は必要に応じて入力してください。
- 「FAX番号」「会社名」「所属名」「役職名」「氏名」「敬称」「電話番号」「〒」「住所1」「住所2」は、送付状の差し込み項目として使用できます。
- ※送付状の種類によって差し込める項目は異なります。

その他の機能の詳細はクライアントのマニュアルをご覧ください。



» 差出人情報の登録

「グループFAX設定」の「差出人情報の設定」—「送付状に差し込む差出人情報はサーバーの情報を使用する」が「ON」の時は、この情報を全クライアントで共有できます。

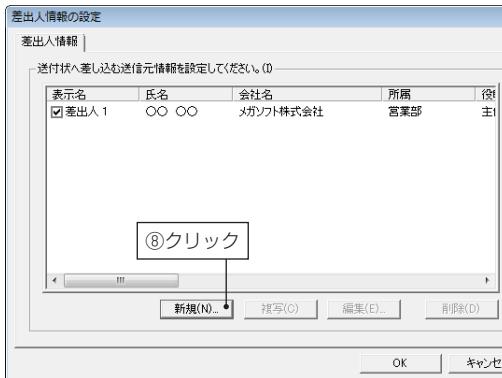
⑦「グループFAX設定」—「共有情報設定」の [差出人情報(D)] をクリックして「差出人情報の設定」を表示します。

⑧【新規】をクリックします。

「ユーザー情報」が表示されます。

⑨差出人の情報を入力します。

- ⑩・差出人は複数登録できます。
- ・差出人の情報は送付状に挿入できます。



⑪ その他の機能の詳細はクライアントのマニュアルをご覧ください。

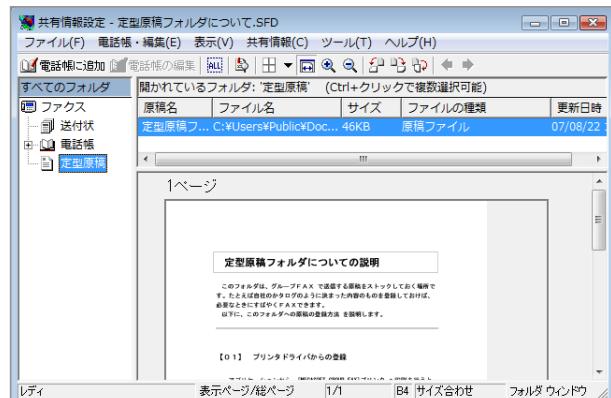
» 定型原稿

「グループFAX設定」の「定型原稿の設定」—「サーバーの定型原稿を使用する」が「ON」の時は、この情報を全クライアントで共有できます。

⑫「グループFAX設定」—「共有情報設定」の [定型原稿(G)] をクリックして「共有情報設定」の定型原稿を表示します。

⑬ 定型原稿の登録方法については、「定型原稿」フォルダ内にある原稿名「定型原稿フォルダについて.SFD」をご参照ください。

⑭ その他の機能の詳細はクライアントのマニュアルをご覧ください。

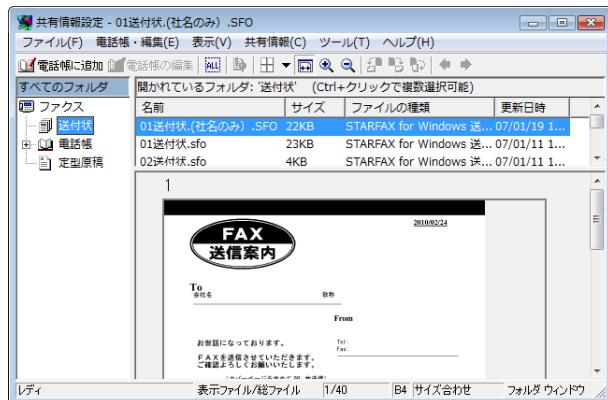


» 送付状

「グループFAX設定」の「送付状の設定」－「サーバーの送付状を使用する」が「ON」の時は、この情報を全クライアントで共有できます。

- ⑪「グループFAX設定」－「共有情報設定」の [送付状(I)] をクリックして「差出人情報の設定」を表示します。

その他の機能の詳細はクライアントのマニュアルをご覧ください。



» ページヘッダの設定

「グループFAX設定」の「差出人情報の設定」－「原稿最上部のページヘッダはサーバーの情報を使用する」が「ON」の時は、この情報を全クライアントで共有できます。

- ⑫「グループFAX設定」－「共有情報設定」の [ページヘッダー(H)] をクリックして「ページヘッダ設定」を表示します。

Ⓐ 印字情報

差し出し人の情報や相手先の情報を差し込むことができます。「説明」ボタンをクリックすると、記述ルールの説明が表示されます。

Ⓑ プレビュー

ページヘッダを確認できます。

その他の機能の詳細はクライアントのマニュアルをご覧ください。



I-5. クライアントのセットアップ

» クライアントプログラムをダウンロードする

①パソコンのDVD (CD) -ROM ドライブにSTARFAX ServerのCD-ROMを挿入します。

[アプリケーションのセットアップ] が開きます。

②[クライアントダウンロード] をクリックします。



クライアントプログラムは製品のCD-ROMがなくても、下記ページまたは、サポートページからダウンロードしていただけます。
http://www.megasoft.co.jp/starfaxserver/dl_client.html

標準のブラウザが起動して、クライアントのダウンロードページが開きます。

» クライアントをセットアップする

③ダウンロードしたクライアントプログラムを起動してセットアップを行います。

セットアップが終了して、再起動後に「グループFAX設定」が表示されます。

クライアントにセットアップの詳細は、クライアントのユーザーズマニュアルを参照してください。

» クライアントの使用方法による設定を行う

④自動検索(おすすめ)を選択します。

■「グループFAX設定」を行う場合

⑤「接続可能なグループFAXサーバー」のリストの中から、接続するFAXサーバーを選択して、OKをクリックします。

〔図〕「接続可能なグループFAXサーバー」にサーバーが表示されない場合は、「サーバーが見つからない場合は」をクリックしてください。メガソフトのWEBサイトにアクセスします。

〔図〕詳細な設定方法については、クライアントのマニュアルを参照してください。

■FAX送信を「どこでもFAX」機能のみで行う場合

⑥キャンセルをクリックし、続けて表示される「どこでもFAX設定」で、設定を行ってください。

〔図〕「どこでもFAX設定」は、ステーションの「設定」ボタンをクリックして表示されるメニューからも表示できます。

〔図〕31ページの「どこでもFAX機能を利用する」を参照

⑦「どこでもFAXを利用する」にチェックを入れて、以下の項目を確認・設定します。

A STARFAX Serverへの接続情報

STARFAX Serverのメールアドレスを指定します。

〔図〕「メールサーバー設定」で設定したサーバーの受信用メールアドレスを入力します。設定前にサーバー管理者などに確認してください。

〔図〕16ページの「メールサーバー設定」を参照

B送信メール

クライアントが使用するメールアカウントの「SMTPサーバー」「ポート」「送信者名」「メールアドレス」を設定します。

〔図〕ここで設定したメールアドレスは、STARFAX ServerのどこでもFAX設定で登録されている必要があります。

〔図〕31ページの「クライアントを登録する」を参照

C送信メールの認証が必要

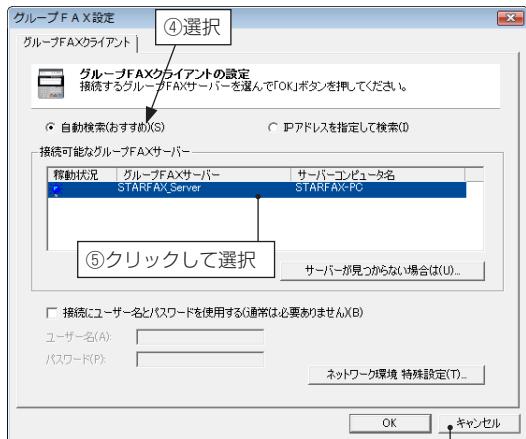
メール送信に認証が必要な場合は、チェックを入れて設定します。

〔図〕送信メールサーバーの認証が必要かどうかは、システム管理者もしくはご契約のプロバイダーにお問い合わせください。

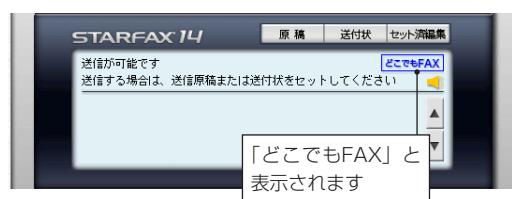
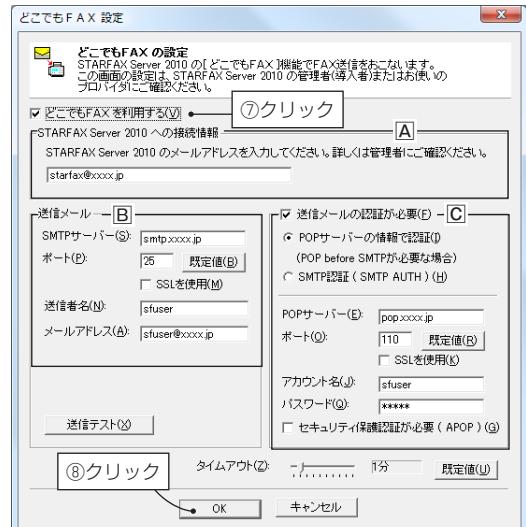
⑧OKをクリックします。

ステーションに「どこでもFAX」と表示されます。

〔図〕[送信テスト]をクリックすると、正しく設定できているかを確認できます。



⑥「グループFAX設定」を行わずに、「どこでもFAX設定」を行いたいときは、「キャンセル」をクリック

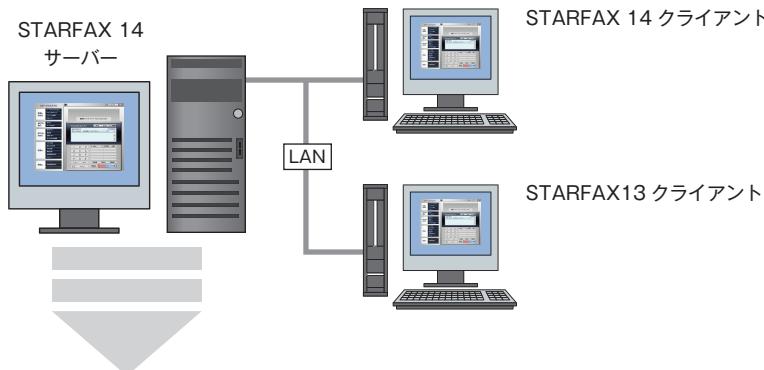


STARFAX 14グループFAXをお使いの方へ

これまでSTARFAX 14でグループFAX機能をご利用いただいており、サーバーをSTARFAX Server 2010にアップグレードする場合のライセンスやデータの移行についてご案内します。
以下の例を参考にご対応ください。

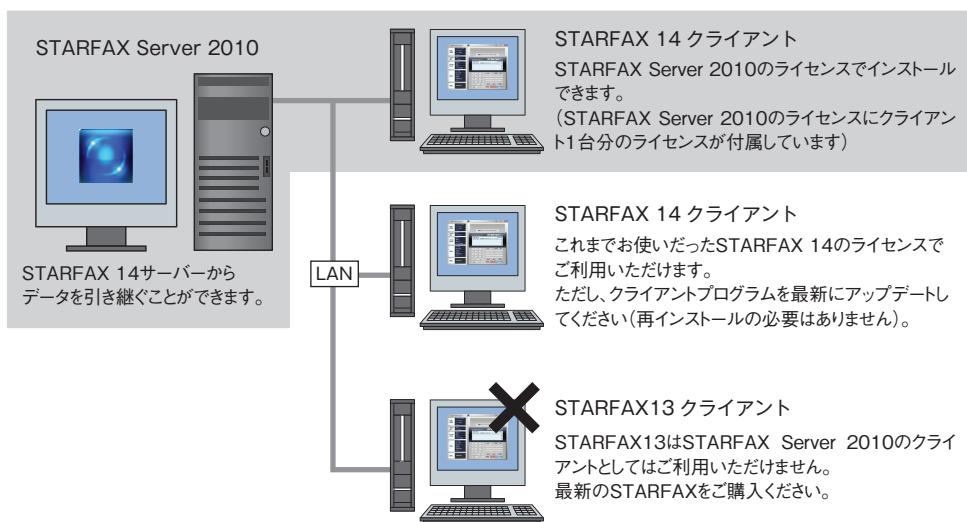
これまでの STARFAX 環境例

STARFAX 14 サーバーに、STARFAX 14/STARFAX13 クライアントがそれぞれ接続されている



新しい STARFAX 環境

サーバーを STARFAX Server 2010 にアップグレードし、さらにクライアントを 1 台追加する



「STARFAX 14」は、2010年4月現在、クライアントプログラムの最新バージョンです。クライアントプログラムの最新バージョンについては、弊社ホームページにてご確認ください。

Section

II

便利な使い方

II-1.	受信FAXをメールに転送する	26
II-2.	受信FAXをFAXで転送する	27
II-3.	受信FAXをプリンターで印刷する	28
II-4.	受信FAXをPDFに変換して保存する	29
II-5.	転送・印刷の再転送	30
II-6.	どこでもFAX機能を利用する	31
	サーバー側の設定	31
	クライアント側の設定	33
	どこでもFAXを使う	34

II-1. 受信FAXをメールに転送する

受信したFAXのデータを指定したメールアドレスに転送する機能です。

メールへの転送機能を使用するには、事前にメールサーバー設定を行う必要があります。

16ページの「メールサーバー設定」を参照

» 「転送・印刷」を表示する

- ①「STARFAX Serverサービスマネージャー」の「転送・印刷設定」をクリックします。

「転送・印刷」が表示されます。



» メールへの転送設定

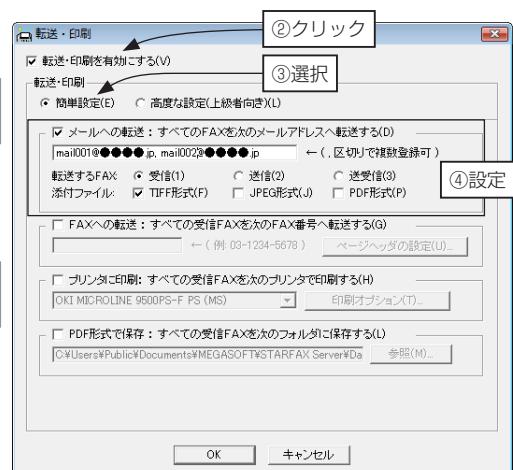
- ②「転送・印刷を有効にする」にチェックを入れます。

- ③「転送・印刷」で「簡単設定」を選択します。

メールへの転送の有無を回線や相手先FAX番号ごとに設定するときは、「高度な設定（上級者向き）」を選択します。

- ④「メールへの転送：すべてのFAXを次のメールアドレスへ転送する」にチェックを入れ、FAXを転送するメールアドレス、転送するFAXの種類、添付するFAX原稿のファイル形式を設定します。

「添付ファイル」のチェックをすべて外すと、FAX原稿は転送されず、受信通知のみメールで送信されます。



II-2. 受信FAXをFAXで転送する

受信したFAXを別のFAXに転送する機能です。

» 「転送・印刷」を表示する

- ①「STARFAX Serverサービスマネージャー」の「転送・印刷設定」をクリックします。

「転送・印刷」が表示されます。

» FAXへの転送設定

- ②「転送・印刷を有効にする」にチェックを入れます。

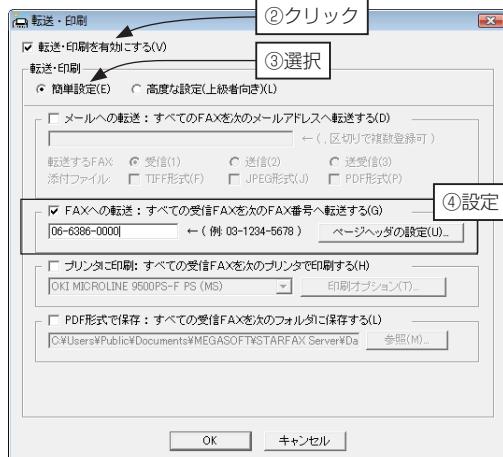
- ③「転送・印刷」で「簡単設定」を選択します。

FAXへの転送の有無を回線や相手先FAX番号ごとに設定するときは、「高度な設定（上級者向き）」を選択します。

- ④「FAXへの転送：すべての受信FAXを次のFAX番号に転送する」にチェックを入れ、転送先のFAX番号を設定します。

[ページヘッダの設定] をクリックするとFAXへの転送時に使用するページヘッダを設定することができます。

21ページの「ページヘッダの設定」を参照



II-3. 受信FAXをプリンターで印刷する

受信したFAXをプリンターに印刷する機能です。

» 「転送・印刷」を表示する

- ①「STARFAX Serverサービスマネージャー」の「転送・印刷設定」をクリックします。

「転送・印刷」が表示されます。



» プリンターでの印刷設定

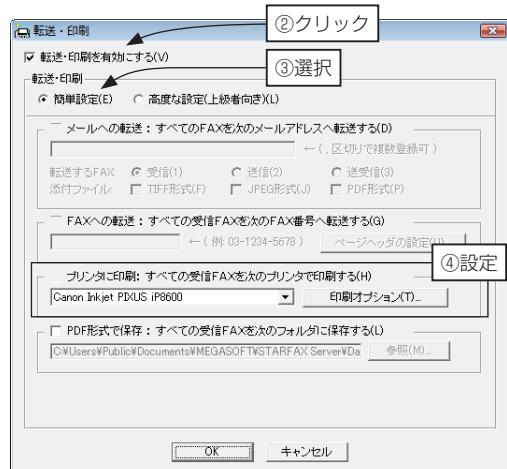
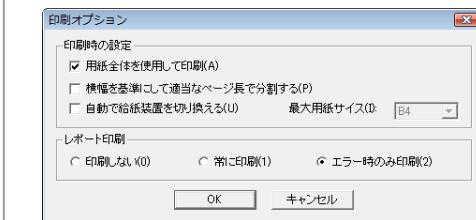
- ②「転送・印刷を有効にする」にチェックを入れます。

- ③「転送・印刷」で「簡単設定」を選択します。

プリンターへの印刷の有無を回線や相手先FAX番号ごとに設定したいときは、「高度な設定（上級者向き）」を選択します。

- ④「プリンターに印刷：すべての受信FAXを次のプリンターで印刷する」にチェックを入れ、プリンターを選択します。

[印刷オプション] をクリックすると印刷のオプションを設定できます。



II-4. 受信FAXをPDFに変換して保存する

受信したFAXをPDFに変換して指定したフォルダに保存する機能です。

» 「転送・印刷」を表示する

- ①「STARFAX Serverサービスマネージャー」の「転送・印刷設定」をクリックします。

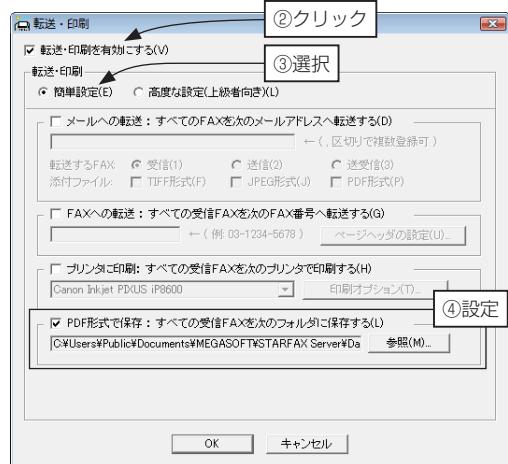
「転送・印刷」が表示されます。



» PDFファイルの保存設定

- ②「転送・印刷を有効にする」にチェックを入れます。
 ③「転送・印刷」で「簡単設定」を選択します。
 ④「PDF形式で保存：すべての受信FAXを次のフォルダに保存する」にチェックを入れます。

[参照] をクリックすると保存先のフォルダを指定できます。



II-5. 転送・印刷の再転送

転送・印刷が正常に実行できなかつたときに再転送することができます。



» 通信結果を表示する

- ①「STARFAX Serverサービスマネージャー」の【通信結果】をクリックします。
「通信結果」が表示されます。



» 転送・印刷の設定をもとに再転送を行う

- ②再転送を行う対象の通信履歴をクリックします。
③【即時再転送】をクリックします。
転送・印刷の設定をもとに再転送が行われます。
➡ 26ページの「受信FAXをメールに転送する」を参照
➡ 27ページの「受信FAXをFAXで転送する」を参照
➡ 28ページの「受信FAXをプリンターで印刷する」を参照
➡ 29ページの「受信FAXをPDFに変換して保存する」を参照



II-6. どこでもFAX機能を利用する

どこでもFAXは、外出先などLANを経由してサーバーに接続できない環境にあるときに、インターネットを経由してSTARFAX Serverにデータを送り、FAX送信を行う機能です。

どこでもFAX機能を使用するには、事前にメールサーバー設定を行う必要があります。

16ページの「メールサーバー設定」を参照

サーバー側の設定

» 「どこでもFAX設定」を表示する

- ①「STARFAX Serverサービスマネージャー」の【どこでもFAX設定】をクリックします。

「どこでもFAX設定」が表示されます。

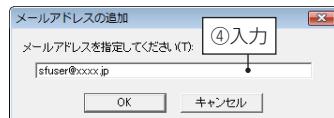
▲ どこでもFAX設定画面の表示中は、どこでもFAX機能は待機状態になります。
待機状態中にクライアントから送られたFAXは、画面終了後、送信されます。



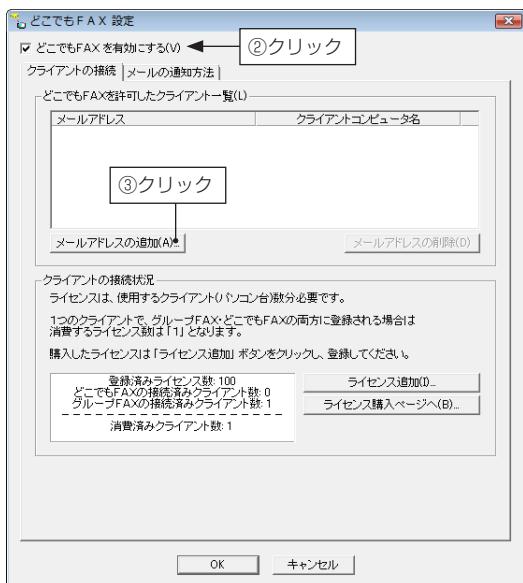
» クライアントを登録する

どこでもFAX機能を使用するクライアントのメールアドレスを登録します。

- ②「どこでもFAXを有効にする」にチェックを入れます。
③「クライアントの接続」タブの【メールアドレスの追加(A)...】をクリックします。
④「メールアドレスの追加」で登録するメールアドレスを入力します。



▲ 「どこでもFAXを許可したクライアント一覧」に登録されていないメールアドレスからのメールは、「対象外」となり、FAX送信されません。



» メールの通知方法

どこでもFAX機能を使用して送信したFAXの送信結果をメールで通知するための設定です。

A 送信結果をメール通知する

送信結果をメールで通知したいときは、チェックを入れます。

- ・送信者へ結果を通知する

送信したクライアントのメールアドレスに結果を通知します。

- ・全ての送信結果を通知する

送信者以外にも通知したいときは、チェックを付けて、メールアドレスを入力します。

- ・メール通知する

送信結果の状況により、通知する／しないを指定します。

- ・件名

通知メールの「件名」を設定します。

- ・本文にレポート附加

送信結果のレポートをメールの本文に挿入します。

- ・添付ファイル

通知メールに添付するFAX原稿のファイル形式を選択します。

B メール受信の設定

- ・メール受信間隔

受信メールサーバーをチェックする間隔を設定します。

- ・対象外のメールをEMLファイルに保存する

どこでもFAX機能の使用を許可していないメールアドレスからのメールや、FAX原稿以外のメールの保存場所を設定します。

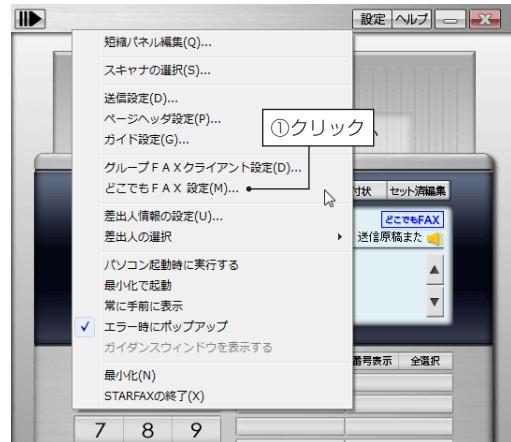
 31ページの「クライアントを登録する」を参照



クライアント側の設定

» 「どこでもFAX設定」を表示する

- ① クライアントの「設定」-[どこでもFAX設定]をクリックします。
「どこでもFAX設定」が表示されます。



» どこでもFAXの設定(クライアント)

- ② 「どこでもFAXを利用する」にチェックを入れて、以下の項目を確認・設定します。

Ⓐ STARFAX Serverへの接続情報

STARFAX Serverのメールアドレスを指定します。

⚠ 「メールサーバー設定」で設定したサーバーの受信用メールアドレスを入力します。設定前にサーバー管理者などに確認してください。

16ページの「メールサーバー設定」を参照

Ⓑ 送信メール

クライアントが使用するメールアカウントの「SMTPサーバー」「ポート」「送信者名」「メールアドレス」を設定します。

ここで設定したメールアドレスは、STARFAX ServerのどこでもFAX設定で登録されている必要があります。

31ページの「クライアントを登録する」を参照

Ⓒ 送信メールの認証が必要

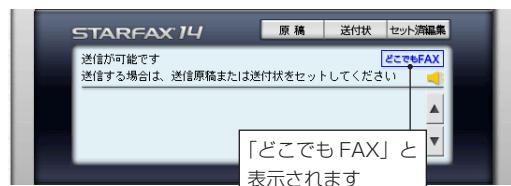
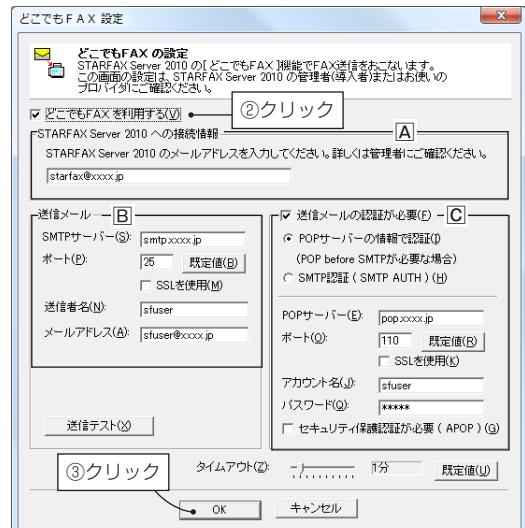
メール送信に認証が必要な場合は、チェックを入れて設定します。

送信メールサーバーの認証が必要かどうかは、システム管理者もしくはご契約のプロバイダーにお問い合わせください。

- ③ をクリックします。

ステーションに「どこでもFAX」と表示されます。

[送信テスト] をクリックすると、正しく設定できているかを確認できます。



どこでもFAXを使う

» クライアントから送信する

クライアントのSTARFAXステーションで、「どこでもFAX」と表示されているのを確認してから、原稿と送信先をセットし、送信します。

送信の結果は通信結果で確認できます。



どこでもFAX機能を使用するには、インターネットに接続している必要があります。

原稿や送信先の設定方法はクライアントのマニュアルを参照

» STARFAX Serverでメールを受信

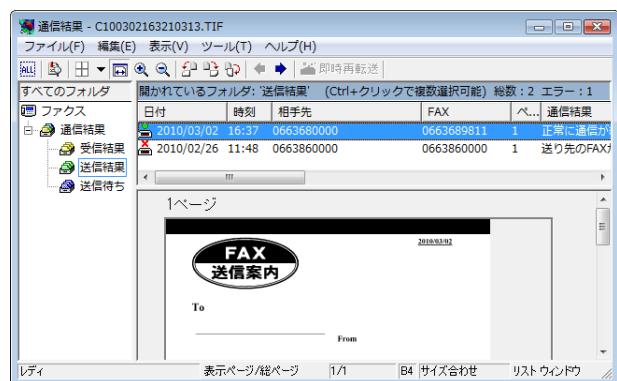
STARFAX Serverがメールを受信します。

- STARFAX Serverがメールを受信する間隔は、どこでもFAX設定の「メール通知方法」タブで設定できます。
- 32ページの「メールの通知方法」を参照

» STARFAX ServerがFAX送信を行う

STARFAX ServerがFAX送信を行います。

送信の結果は、通信結果に記録されます。



Section

III

メンテナンス

III-1. 送受信状況の確認	36
III-2. 旧バージョンからの引き継ぎ	37
III-3. データのバックアップ	38
III-4. データの復元 (リストア)	39
III-5. サーバーパソコンを入れ替える	40
III-6. クライアントパソコンを入れ替える	41
III-7. アンインストール	42

III-1. 送受信状況の確認

送受信したFAXの内容やエラーの状況を確認します。

» 通信結果の表示

- ①STARFAX Serverサービスマネージャーで、[通信結果] をクリックします。

» 通信結果の確認

②通信結果

確認したい通信結果のフォルダーをクリックします。

- ③選択したフォルダーに保存されている通信結果のリストが表示されます。詳細を確認したい通信結果をクリックすると選択した通信結果のFAX原稿が表示されます。



III-2. 旧バージョンからの引き継ぎ

STARFAX13以降のSTARFAXがインストールされているパソコンに、STARFAX Serverをインストールするときには、旧バージョンから各種データを引き継ぐことができます。

» 引き継げるデータの種類について

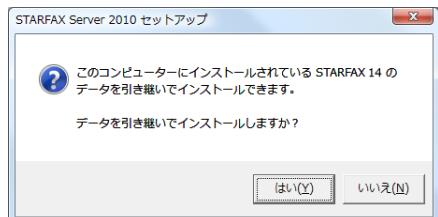
STARFAX13以降のSTARFAXから以下のデータを引き継ぐことができます。

- ・送受信情報
- ・電話帳
- ・短縮パネル
- ・送付状
- ・定型原稿
- ・グループFAXの設定とグループFAX情報（グループFAXのサーバープログラムがインストールされていた場合）

 クライアントとしてインストールされたSTARFAXからはデータは引き継げません。
スタンドアロン型、またはグループFAXのサーバープログラムからのみ引き継げます。

» 引き継ぎの手順

- ①STARFAX Serverをインストールします。
(旧バージョンのアンインストールは後で行います)
- ②旧バージョンがインストールされている環境で、STARFAX Serverのインストールを実行すると、以下のようなメッセージが表示されます。



- ③「はい」をクリックすると、旧バージョンの設定が引き継いで、STARFAX Serverのセットアップが行えます。
- ④10ページの「STARFAX Serverのセットアップ」を参照
- ⑤STARFAX Serverのセットアップ完了後、旧バージョンが不要な場合は、アンインストールしてください。

III-3. データのバックアップ

バックアップツールを使用して、STARFAX Serverの電話帳や通信結果などのデータ、各種設定をファイルに保存できます。

バックアップされるデータは「グループFAXの設定」「送受信情報」「定型原稿」「電話帳」「送付状」「グループFAX情報」「短縮パネル」「どこでもFAX情報」「メールサーバー設定」です。

» バックアップを行う前に

- ①バックアップツールを起動する前にSTARFAX Serverのサービスを停止します。

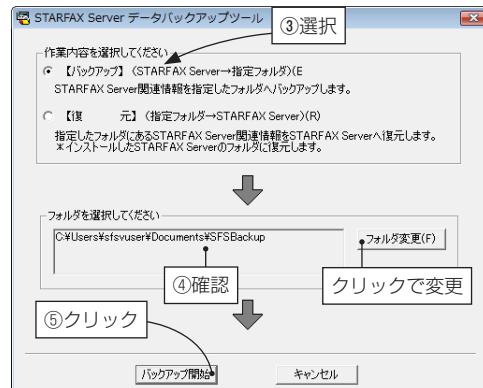
タスクトレイのSTARFAX Serverアイコンを右クリックして表示されるメニューから「サービス停止」をクリックしてください。また、STARFAX Serverの「共有情報設定」や「送付状エディタ」など関連ツールもすべて閉じます。

» バックアップツールの起動

- ②Windowsのスタートから【すべてのプログラム】 - 【STARFAX Server 2010】 - 【その他の機能】 - 【データバックアップツール（データのバックアップと復元）】をクリックします。

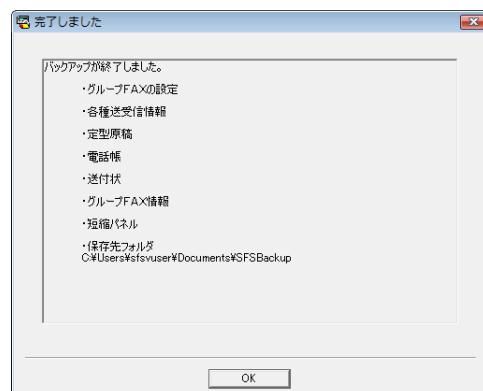
» バックアップを行う

- ③作業内容で【バックアップ】を選択します。
- ④バックアップファイルを作成するフォルダを確認します。
- 【フォルダ変更(F)】をクリックするとバックアップファイルを作成するフォルダを変更できます。
- ⑤【バックアップ開始】をクリックします。



» バックアップ内容の確認

- ⑥バックアップが完了すると、バックアップの内容とバックアップファイルの保存先フォルダが表示されます。



III-4. データの復元（リストア）

バックアップファイルからデータを復元します。

- 図・復元されるデータは「グループFAXの設定」「送受信情報」「定型原稿」「電話帳」「送付状」「グループFAX情報」「短縮パネル」「どこでもFAX情報」「メールサーバー設定」です。
- STARFAX13、STARFAX 14で作成したバックアップファイルからも復元できます。

» 復元（リストア）を行う前に

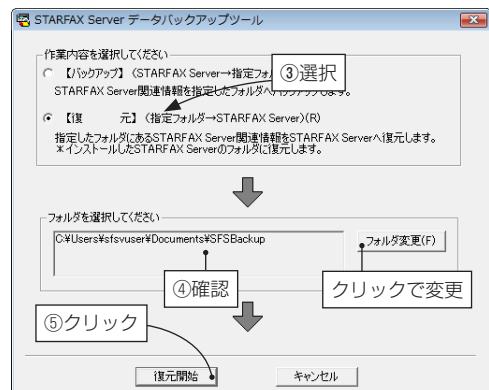
- ①バックアップツールを起動する前にSTARFAX Serverのサービスを停止します。
タスクトレイのSTARFAX Serverアイコンを右クリックして表示されるメニューから「サービス停止」をクリックしてください。また、STARFAX Serverの「共有情報設定」や「送付状エディタ」など関連ツールもすべて閉じます。

» バックアップツールの起動

- ②Windowsのスタートから【すべてのプログラム】→【STARFAX Server 2010】→【その他の機能】→【データバックアップツール（データのバックアップと復元）】をクリックします。

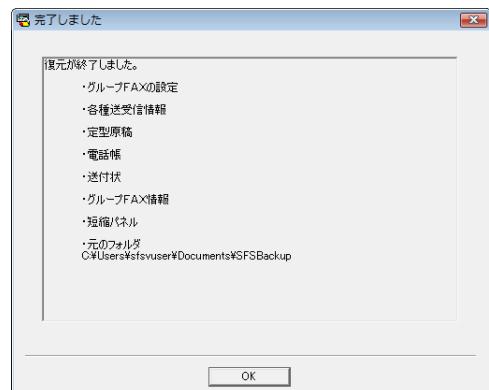
» 復元を行う

- ③作業内容で【復元】を選択します。
- ④復元するバックアップファイルがあるフォルダを確認します。
【フォルダ変更(F)】をクリックすると復元するバックアップファイルがあるフォルダを変更できます。
- ⑤【復元開始】をクリックします。



» 復元された内容の確認

- ⑥復元が完了すると、復元された内容とバックアップに使用した元のフォルダが表示されます。



III-5. サーバーパソコンを入れ替える

STARFAX Serverを別のパソコンに入れ替えるときは以下の手順で行います。

» これまでのパソコンからSTARFAX Serverを削除する

①バックアップツールを使用して電話帳、通信結果などのデータをバックアップします。

 38ページの「データのバックアップ」を参照

②STARFAX Serverをアンインストールします。

 42ページの「アンインストール」を参照

» 新しいパソコンにSTARFAX Serverをセットアップする

③別のパソコンにSTARFAX Serverをセットアップします。

 10ページの「STARFAX Serverのセットアップ」を参照

④手順①で作成したバックアップデータを復元(リストア)します。

 39ページの「データの復元(リストア)」を参照

III-6. クライアントパソコンを入れ替える

クライアントを別のパソコンに入れ替えるときは以下の手順で行います。

» サーバーパソコンで、クライアントのデータを移動する

- ①サーバーの「STARFAX Serverサービスマネージャー」から「グループFAX設定」を表示します。
- ②「グループFAX設定」の「クライアントの接続方法」で「高度な設定(上級者向け)」をクリックします。
- ③「高度な設定(上級者向け)」の「接続を許可するクライアント一覧」で、不要な「クライアントコンピュータ名」を選択し、「ユーザーのデータの移動」をクリックします。

ユーザーデータはサーバー内に移動されます。

» クライアントパソコンで、クライアントプログラムをアンインストールする

- ④これまで使っていたクライアントパソコンからクライアントプログラムをアンインストールします。
- アンインストールの手順は、クライアントのマニュアルをご確認ください。

» 新しいパソコンに、クライアントプログラムをセットアップする

- ⑤新しいパソコンにクライアントプログラムをインストールします。
- 22ページの「クライアントのセットアップ」と、クライアントプログラムのユーザーズマニュアルを確認してください。

» 新しいクライアントパソコンで、サーバーに接続する

- ⑥新しいクライアントパソコンでサーバーに接続すると、手順①から③でサーバーに移動しておいた以前のクライアントのデータが自動的に読み込まれ、反映されます。
- クライアントの接続方法は23ページの「クライアントの使用方法による設定を行う」を参照

» サーバーパソコンで、不要なクライアントを削除する

- ⑦サーバーの「STARFAX Serverサービスマネージャー」から「グループFAX設定」を表示し、「グループFAX設定」の「クライアントの接続方法」で「高度な設定(上級者向け)」をクリックします。
- ⑧「高度な設定(上級者向け)」の「接続を許可するクライアント一覧」で、不要な「クライアントコンピュータ名」を選択し、「ユーザーの削除」をクリックします。

III-7. アンインストール

STARFAX Serverを削除します。

» アンインストールを行う前に

STARFAX Serverはインターネットに接続されている場合、アンインストール時に自動的にライセンス認証の解除を行います。

ライセンス認証の解除を行わずにSTARFAX Serverを削除すると再セットアップの時にライセンス認証ができません。

インターネットに接続されている状態でアンインストールを行ってください。

12ページの「ライセンス認証を行う」のメモ欄をご覧ください。

①STARFAX Serverと、STARFAX Serverの「共有情報設定」や「送付状エディタ」など関連ツールをすべて終了します。

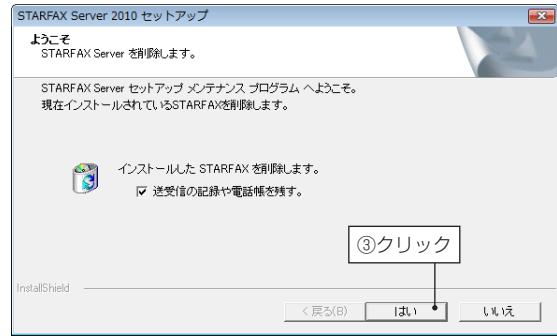
» STARFAX Serverを削除する

②Windowsのスタートから【すべてのプログラム】－【STARFAX Server 2010】－【その他の機能】－【STARFAX Serverのアンインストール】をクリックします。

データや設定を残すときは【送受信の記録や電話帳を残す。】にチェックを入れておくと、次回セットアップ時にデータが引き継がれます。

③ をクリックします。

画面の指示に従ってアンインストールします。



Section

IV

サポート情報

サポートサービスのご利用について	44
ユーザー登録について	44
サポートセンターへのお問い合わせについて	44
STARFAX Server 2010 調査依頼書	45
ユーザー登録変更届	46

サポートサービスのご利用について

サポートサービスは、ユーザー登録をしていただいているユーザー様にのみご提供するサービスです。サポートサービスをご利用いただく前に、必ずSTARFAX Server 2010でのユーザー登録をお済ませください。

スタートメニューの「STARFAX Server 2010」－「その他の機能」－「サポートツール」内の各機能は、サポート時にのみメガソフトの指示に従って操作してください。

ユーザー登録について

ユーザー登録は製品ごとに行っていただいております。すでにSTARFAX製品をお持ちの場合もSTARFAX Server 2010でのご登録をお願いいたします。

■インターネットで登録する

インストール時にユーザー登録を行わなかった場合は、メガソフトのユーザー登録ページから、ご登録ください。

<http://www.megasoft.co.jp/entry/>

デスクトップのユーザー登録・変更をダブルクリックしてもユーザー登録ページが開きます。

また、製品に同梱されている「ユーザー登録ハガキ」に必要事項をご記入いただき、FAXや郵便でお送りいただいても結構です。

サポートセンターへのお問い合わせについて

■お問い合わせの前に

マニュアルやヘルプをご覧ください。また、メガソフトのサポート情報ページの「よくあるご質問と回答(FAQ)」なども併せてご参照ください。

サポート情報ページは、Windowsのスタートから【すべてのプログラム】－【STARFAX Server 2010】－【マニュアル&Webページ】－【サポート情報ページ】をクリックします。

■メガソフトホームページからのお問い合わせ

メガソフトのサポート情報ページの「オンライン調査依頼」からお問い合わせください。

<http://www.megasoft.co.jp/support/starfax/>

■FAXでのお問い合わせ

ユーザーズマニュアル45ページの「調査依頼書」に質問内容を記入してFAXでお送りください。

FAX:06-6147-2764

■お電話でのお問い合わせ

サポートの際には「ライセンスキー」、「STARFAXのバージョン」、「パソコン環境」をお伺いします。
あらかじめご確認の上、ご連絡ください。

祝祭日を除く月曜日～金曜日：9：30～11：45／13：00～17：00

TEL:06-6147-2804 (ライセンス認証ができない場合は06-6386-6153)

STARFAX Server 2010 調査依頼書

■調査依頼日	西暦 年 月 日
■会社・部署名	
■お名前	
■電話番号	
■FAX番号	
■メールアドレス	
■ライセンスキー	3240- セットアップディスクのケースをご覧ください。
■ STARFAX のバージョン情報	Windows のスタートから [すべてのプログラム] - [STARFAX Server 2010] - [その他の機能] - [バージョン情報] で確認できます。
■ご利用の Windows	
■ご利用の FAX モデム	Windows のスタートから [コントロールパネル] を開き、「クラシック表示に切り替える」を選んだあと、[電話とモデムのオプション] で FAX モデムを確認できます。
■ご利用の電話回線	例:一般加入電話回線、IP 電話回線(光・ADSL)、ISDN 回線
■電話回線の使い方	例:FAX 機と共に、電話と共に、STARFAXのみで使用、送信専用、受信専用、送受信共に設定
■ご利用のプロバイダー様	どこでも FAX をご利用の場合のみご記入ください。
■お問い合わせ種別	例:セットアップがわからない、操作がわからない、送信できない、受信できない、STARFAX の動作が異常、どこでも FAX の設定がわからない
■問題が発生するようになった原因	例:始めから、パソコンを変えた、利用回線を変更した、プロバイダを変更した
■お問い合わせ内容 ※当社で状況を確認できるよう、できるだけ詳しくご記入ください。	

※ユーザー登録がお済みでないときは、ユーザー登録をお願いしたあとに回答させていただきます。

メガソフト株式会社 STARFAX サポートセンター
〒 530-0015 大阪府大阪市北区中崎西 2 丁目 4 番 12 号 梅田センタービル 11F

FAX : 06-6147-2764

ユーザー登録変更届

■製品名	STARFAX Server 2010	
■ライセンスキー	(ご記入がないときは変更できません)	
セットアップディスクのケースか、製品に同梱されたユーザー登録ハガキをご覧ください。		
新	■住所	〒
	■会社名・部署名	
	■お名前	
	■E-mail	
	■電話番号	
	■FAX 番号	
旧	■住所	〒
	■会社名・部署名	
	■お名前	
	■E-mail	
	■電話番号	
	■FAX 番号	
■備考	※変更理由を簡単にご記入ください。	

セットアップ

便利な使い方

メンテナンス

サポート情報

メガソフト株式会社 STARFAX ユーザー登録係行き
〒 530-0015 大阪府大阪市北区中崎西 2 丁目 4 番 12 号 梅田センタービル 11F

FAX : 06-6131-5081

索引

F

FAX通信仕様	8
FAX転送	27
FAXモデム	
準備	9
接続	9
未検出	11

P

PDF保存	29
-------	----

S

STARFAX Serverサービススマネージャー	
グループFAX設定	17
転送・印刷設定	26-30
表示	13
メールサーバー設定	16
モデム環境設定	13

あ

アクティベーション	12
アンインストール	42

い

インストール	10
--------	----

か

回線設定	14
回線テスト	11

き

旧バージョンからの引き継ぎ	37
共有情報設定	19

く

クライアント	22
セットアップ	22
ダウンロード	22
クライアントパソコンを入れ替える	41
グループFAX設定	17

さ

サーバー	
セットアップ	10
サーバーパソコンを入れ替える	40
差出人情報	20

し

受信設定	14
------	----

せ

セットアップ	
回線テスト	11
サーバー	10
ユーザー登録	11

そ

送受信状況の確認	36
送信設定	14
送付状	21

た

短縮ダイヤル	19
--------	----

つ

通信結果の確認	36
---------	----

て

定型原稿	20
データの引き継ぎ	37
転送・印刷	
FAXで転送	27
PDFに変換して保存	29
再転送	30
プリンターで印刷	28
メールに転送	26
電話帳	19

と

動作環境	8
どこでもFAX	31-34
クライアント側の設定	33
サーバー側の設定	31
どこでもFAXを使う	34
メールの通知	32

は

バックアップ	38
--------	----

ひ

引き継ぎ	37
------	----

ふ

ファイアウォール設定	10
復元	39
プリンターに印刷	28

へ

ページヘッダ	21
--------	----

め

メールサーバー設定	16
メールに転送・通知	
受信FAX	26
どこでもFAXの送信結果	32

も

モデル環境設定	13
全回線共通設定	15
モデル設定	14

ゆ

ユーザー登録	11
--------	----

ら

ライセンス認証	12
お問い合わせ	12
解除	12

り

リストア	39
------	----

Credit

Producer	Tsuda Itaru
Director	Oh Kanehide
Assistant Director	Soseki Hiromi
Quality Assurance Director	Shiraki Yumi
Art Director	Hirai Kiyotaka
Programmer	Sakai Toshio
WebSite Director	Kumano Mamiko
Sales	Teramoto Masahiko／Kawada Tetsuya
Net Sales	Nakahara Yasushi
Production	Tokai Midori
Manual	Ayama Osamu(studio oh's)／Tanabe Kazuko

STARFAX Server 2010 ユーザーズマニュアル

発行日：2010年4月 初版

発行者：メガソフト株式会社

〒530-0015

大阪府大阪市北区中崎西2丁目4番12号 梅田センタービル 11F